

きずな

第40号

平成25年1月25日

2月の予定

- 2月3日 ゆ〜るサロン
- 2月13・14・15日
まちづくり未来塾開講
「明日のライフスタイルを考える」
- 2月16日
講談社全国訪問おはなし隊
キャラバンカー in いずみの里

平成二十五年の年頭にあたりて

所長 黒川有昌



二〇一三年一月一日に大網白里市が誕生しました。私は、海岸でのカウントダウン花火、そして元旦祭、初日の出と四日の開始式に参加し、新しい歴史の幕開けに立ち会え感慨ひとしおでした。

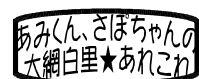
本年度「まちサポ」も五年目を迎えます。市民の認知度も増してきていると思います。昨年度は、市民の皆様、支援団体の方々市役所の皆様や多くの支援を下さった方々に深く感謝申し上げます。本年も、各種事業を実施してまいります。

- 1、多くの人が集える市民活動の拠点としての「まちサポ」づくりを目指して活動してまいります。
- 2、市民活動の横のつながりをつくり協働のまちづくりが進展出来るように努力してまいります。
- 3、行政と連携を密にして運営の改善を図ります。
- 4、市民活動団体の育成、人材開発事業、未来塾の充実、情報の収集と発信などに力を入れて活動します。



市政施行に伴い総合計画による機構改革で市民活動の推進体制が整う事を期待して連携を深めたいと考えています。どうか本年度も「まちサポ」に、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

市民の皆様のご多幸を心からお祈りします。



市政施行記念式典
に行ってきました
一月二三日に大
網白里アリーナで
行われた市政施行
記念式典に市民と
して行ってみまし
た。一般は200
名まで入れたので、実
際に来ていたのは150名
くらい、しかも中学生の演
奏が終わると式典を見ない
で帰る方もいたり、皆様あ
まり興味がなかったでしょ
うか？少し残念でした。町か
ら市に変わることが体験出
来るなんて、そうそうない
のですから：
これからも市民として、
市を盛り上げるために自分
に何が出来
のか、そして
この市をふる
りとして愛し
てくれる人口
を増やしたい
と、そんな思
いが湧いた式
典でした。



東日本大震災より2年目を迎える年に引き続き全ての地域の復興と原発問題の最善の答えを望みます。また、我が住む町が大網白里市制なり、新しき年が更に善きスタートとなります様願ひまして、今年もよろしくお願い致します。地域の絆を深めるには人と人の会話を極める。よって相手を知り、思いやる。それが地域コミュニティにつながると中間支援組織の中で学ばせて頂きました。自分を知ってもらう、活動を知ってもらう、地域で出来ることを提示してもらう。外に出て話すことから始まります。一人一人が自分らしく地域で生かされます様に私自身もそうありたいので心と体で毎日真心で地域づくりのお手伝いに励む一年目指します。 林



正清子

高齢化、消費税など様々な問題に直面する昨今です。限られた資源、エネルギー、食料そして気候変動（日本では地球温暖化と呼んでいます）などの諸問題も立ちは大かかっております。

生き方そのものについて自省的な思惟とともに「真の豊かさ」とは何かを問う必要があります。今年も環境と、これからの「まちづくり」に対応する活動を続けます。明るくスマートな感覚を養う年にしたいと思っています。

田邊 宏雄



まちサポ理事 新年の抱負

新しい公共空間の形成に携わりたいです。



三澤
清隆



ありのままに
なすがままに
八角 榮子

明けましておめでとうございます。時間に追われないよう一日一日を大切に過ごし、ハードルを一つ一つ乗り越えられるよう、努力していきたいと思ひます。



今年もよろしくお願ひ致します。 平野 由美子

3・11以来、有事の日々と位置づけた東北支援ボランティアも、合計で120回、2000名近い人達に参加してもらった。会社を上げた節電も66%ができた。復興はまだまだこれからだが、Zoomしてみると今を乗り越えようとする人々の動きに励まされて勇気づけられてきた。

新しい一年も、どんなことが起ころうとも、眼の前に映る課題や問題に、今からここから自分からそして出来ることから！の気持ちで立ち向かっていこうと思う。



市民として、経営者として、一回り成長出来たといえる一年にしたい。

野老 真理子

まちサポのおかげで、たくさんの方とお目にかかれ、たくさんの方を学ばせていただいています。たくさんの方に感謝しています。そして、これからもこの絆を大切に、また多くの方々にまちサポをご利用いただき、絆の輪を広げていきたいと思ひます。 事務局長 鵜澤 司子

お世話になっていきます。

毛糸・手芸・生地・化粧品
ぷち・はんず
大網32-5
0475-72-0394

安藤正義税理士事務所
大網白里町仏島91
0475-72-6188

トップマート大網店
大網白里町大網84-4
0475-70-2058

まちづくり未来塾 町経会「納経の旅」

茨城県 八溝山 日輪寺へ

十一月三十日、二十四年最後の納経のため、福島県との県境にある八溝山に向かいました。標高一、〇二八呎の八合目に坂東三



十三観音の二十一番札所日輪寺があります。車一台しか通れないヘアピンカーブの道を、対向車が来ないことを願いながらたどり、大網から片道5時間、ようやく日輪寺にたどり着きました。

いつもは楽しくおしゃべりしながら出かけるのですが、5時間の最後のヘアピンカーブには勝てず、車酔いになる方もいて、お寺に着いたときには皆ほっとしました。ちょうど薄曇りの日でしたので

雪の具合が心配になり住職にお聞きすると、一二月末から一月までは閉山になるそうです。だから本堂まではお参りに来られなくなるそうで、その間の納経は麓で受け取るそうです。お話を聞いて、雪が降る前に納経することができて、またご本尊様にお目にかかれて良かったと思いました。

帰り道もヘアピンカーブと戦い、遅いお昼を大子町で、おそばをいただきました。少しへとへとになった今回の納経の旅でした。

それにしても、お遍路さんは、この道を歩いているのですから頭が下がります。私たちは車で、楽しみながらお参りをしているので、御利益も半減かなと思いきや、今は同じように回っている方もたくさんいることを知り安心しました。



郷土の歴史-13

絵馬に観る人々の願い(その1)

～「絵馬の歴史」と「大網白里市の絵馬」～

大網白里市郷土史研究会会長

古山 豊

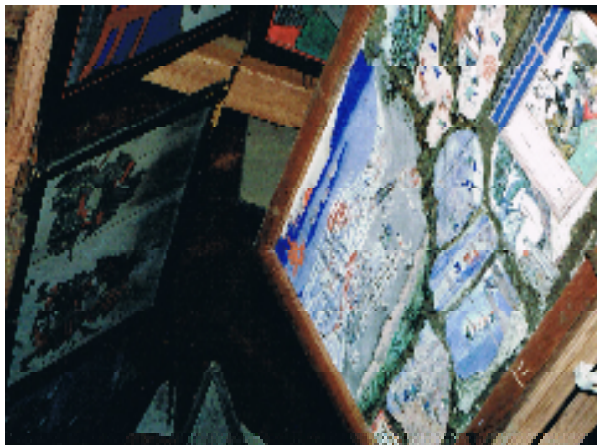
はじめに

人間が生きていくためには、至る場面でいろいろな苦しみや悲しみと遭遇する。人々はそのなかから立ち上がり乗り越えようとする場合、自分一人の力ではどうすることもできない壁に突き当たることがある。このような場合、大きな力にすがろうとしたり、神仏に祈ったりする。つまり苦しいときの神頼みである。

また古代から人間は、説明のつかない自然現象に対して非常に恐怖心を抱き、神として祀ってきた。願い事をただ心の中で神にお願いするに留まらず、形にしたり、絵や文字などを通して自分の気持ちをより強く表す方法で願い事を叶えようとした。その一例として「絵馬」奉納という他国にはない日本独自の民俗習慣が生まれ根付いてきた。

絵馬とは

絵馬とは、文字通り絵に描いた馬のことであり、祈願や報謝のために社寺に奉納するもので、祈願の際に奉納される場合や目的達成後に奉納される場合がある。大網白里市には68の神社が法人登録され沢山の絵馬が奉納されている。大絵馬の数では県下市町村のなかでも指折りである。科学万能の時代でありながら、「絵馬」祈願はいまだに残っている。



(写真1「四季農耕と漁村の生活図」)

南今泉、稻生神社絵馬堂内

まちづくり未来塾・新講座開講 「明日のライフスタイルを考える」

これからは確実に低炭素社会に向かいます。身近な生活の中で、ライフスタイルを考えるとときのヒントについて話します。



①2月13日(水)

- ・なぜエコライフがもためられるか
- ・エネルギー

(省エネ、節電、水、エネルギーの自給)

②2月14日(木)

- ・交通
(エコライン、自動車利用の削減・自転車)
- ・食(食べきる、フードマイレージなど)

③2月15日(金)

- ・ごみ、廃棄物の削減、3R
- ・生物多様性

※3日間とも 13:30~15:30

講師 田邊 宏雄



まちサポ理事
環境会議おおみしらさと21代表
千葉県地球温暖化防止活動推進員

体の中から温まる、食べ物を食べよう!

- ・しょうが・ねぎ・根菜を使った料理で、
体も心もぽっかぽか♪

しょうが編

特に体を温める作用が強いのは、生姜。生姜の入った料理を食べた後、すぐに体がポカポカしてきた経験は誰もが一度くらいはあるでしょう。生姜に含まれるショウガオールには、胃腸の血行をよくする働きがあり体の中心部を温めてくれます。

また、体内の活性酸素を除去する、エネルギー代謝をアップさせる、免疫力を高める、花粉症を抑えたり、脂肪の分解・燃焼を促進するなど、女性にはうれしいダイエットの効果も期待できます。生姜を食べて暖まろう!

みんなで暖かさをシェアしましょう! まちサポで暖まって下さい。

ワットセンスアワード

推進パートナーになりました。

夏の熱中症予防声かけプロジェクトに続き、一般社団法人日本エンパワーメントコンソーシアムが運営するワットセンスアワードに登録しました。

ワットセンス・プロジェクト総合運営事務局の考えるワットセンスとは?

「3.11以降、私たちは、人にとってデンキとは何か、エネルギーとは何か、さらにいえば、便利さとは何か、自分にとって幸せな生活とは何か、そんなことを考え始めています。そう考えてみると、3.11を起点とする「節電」は、日本人の創造性を発揮する機会だったのかもしれない。

たとえば、震災後の大規模停電を食い止めるため、多くの市民が自発的に協力し、創造的に連帯しました。

今まで無意識だったスイッチのオンとオフに、便利とムダというコミュニケーションが生まれました。また、エネルギーを効率化する技術や機器が次々と開発され、今こそ日本の技術力の真価が問われています。

さらに「節電」を機会に、家族や友人と一緒に過ごす時間が増えています。

一人ひとりの心に芽生え始めた、デンキやエネルギーと社会のあり方を考える気持ち。一人ひとりの心に芽生え始めた、デンキやエネルギーと自分のあり方を考える気持ち。そのように社会全体に芽生えはじめた、「エネルギーの使い方を考えるセンス」を、ワットセンスと呼んでみることにしました。」

まちサポでも、何か出来る事があるはずと、考えています。という事で、きずなに「ワットセンスアワード」を連載します。

大網白里まちづくりサポートセンター

大網白里市大網 32-3

TEL/FAX ; 0475-72-8278

<http://machisapo.net>

E-mal:info@machisapo.net